

モモ 桃

バラ科

参考文献
一般社団法人果種協・国立研究開発法人農研機構・国立研究開発法人JIRCAS(監修)(2017),
図説果物の大図鑑, 株式会社マイナビ出版 他

○多摩青果の主な入荷情報

	色の基準											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
産地												
秋田												
山形												
福島												
山梨												
長野												
静岡												

○月別情報

- 5月：山梨・長野・静岡の順にハウス栽培の入荷スタート
小玉品種が出回る
- 6月：静岡・和歌山・山梨の順に露地栽培の入荷スタート
ひと品種の出回り期間1週間～2週間程度と短期
- 7月：山梨の入荷ピーク、大玉品種が出回る
- 8月：長野の入荷ピーク、併せて山形も入荷
- 9月：シーズン終盤

○産地情報

- 山形：温暖気候を好む桃の一大産地としては北限
- 福島：桑折町は皇室献上桃の産地として25年連続選定
- 山梨：日本で初めて光センサー糖度判別機を導入
- 静岡：早出し桃の産地、短期集中型の入荷

○桃の選び方と保存方法

選び方	ふっくらしていて丸みがあり 果皮全体に産毛が生えているもの
保存	生 風通しの良い場所に置いておき 食べる1時間ほど前に冷蔵庫野菜室で保存
	冷凍 皮を剥きレモン汁をかけるか ラップで包みフリーザーバックに入れて保存
食べ頃	購入後、お好みのやわらかさになったら
追熟方法	新聞紙に包み常温で置いておく

○糖度別にランク付け

出荷時に品質のばらつきをなくし高品質なものを高価格で販売するため、「光センサー」によって糖度判別する機械を各産地で導入。糖度別に選果できるだけでなく、分析データから毎年高糖度を出荷している生産者の圃場調査をし、それに基づいた生産指導を行うなどの技術向上に役立てている。現在、これを用いてランク付けされたものが市場流通品の多くを占める。

○^{むたい}無袋栽培・^{ゆうたい}有袋栽培

- 無袋栽培：袋かけを行わない栽培方法で、見た目はやや劣る。
太陽を直接浴びるため、高糖度・香りに優れる。
- 有袋栽培：袋かけを行う栽培方法で、食味はやや劣る。
皮が薄くなめらかで日持ちする。外観が綺麗。
害虫が付きにくい。贈答用は有袋が多い。

モモ 桃

バラ科

○白鳳系と白桃系の違い

- ・白鳳系(6～7月下旬頃)
果肉がやわらかく果汁が豊富でジューシー
- ・白桃系(7月下旬～9月頃)
果肉がかたく、木に成っている時間が長いため
大玉で糖度も高い

○桃の甘い場所

- ・お尻に向かうにつれて甘いため、
くし切りにすると甘味が均等になる

甘



なつっこ

7月下旬～8月下旬
長野オリジナル品種
糖度が高く大玉
なめらかで口当たり良く
果肉は乳白色で
しっかりしている



ちよひめ

5月中旬～7月上旬
極早生種
果皮は赤と白のまだら模様
多汁で酸味が控えめ
日持ちのする品種



かのういわはくとう 加納岩白桃

5月中旬～8月
早生種の中では大玉
浅間白桃の枝代わり品種
とろけるやわらかさ
甘味が強く多汁



あかつき

7～8月
「白鳳」×「白桃」
中生種で、福島の代表品種
かためで歯ごたえよい
果肉は赤が混じる白



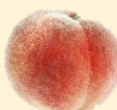
あさまはくとう 浅間白桃

7月中旬～8月
中生種では比較的大玉
香りがよくやわらかい
果肉は白色で中心は赤
多汁で繊維質



ひかわはくほう 日川白鳳

5月下旬～8月
早生種
白鳳の枝代わり品種
酸味が少なく
さっぱりとした甘味



はくほう 白鳳

7～8月
甘味が強く酸味少なめ
果肉はしっかり
なめらかでとろける食感
噛むと滴るほど多汁



かわなかじまはくとう 川中島白桃

8～9月
果肉はややかため
甘味たっぷりで日持ちする
歯ごたえしっかり
上質桃として広く栽培



おうごんとう 黄金桃

7月中旬～9月下旬
長野で偶発的に誕生
果肉は濃黄色、しっかり食感
多汁で強い甘味、程よい酸味
濃厚な味わい

